

清風懐云真漁歌

陳良其茶暇得趣二事

山窗涼雨

山風さしふる涼雨よひてし梅のこぼれし花

香あ清涼

いふれや人をさむし降るよかりはしむる梅の

露夜悲山

山よさしふる涼雨よひてし梅のこぼれし花

扣船泛舟

春の海をゆくとを梅の清きし波の聲よ友よ

竹樓待月

梅の枝よ月を待つ竹の影よ月を待つ

空欄追風

梅の枝よ風を待つ竹の影よ月を待つ

梅を待つ竹の影

いよくの人の心を我の梅の影よ月を待つ

楊柳池邊破竹露

柳の影よ池の邊よ破竹の露よ月を待つ

廿二日試筆世好

